

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【公開番号】特開2020-105223(P2020-105223A)

【公開日】令和2年7月9日(2020.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2020-027

【出願番号】特願2020-66723(P2020-66723)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 41/00 (2020.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/56 (2006.01)

C 1 2 N 15/21 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 38/21

A 6 1 P 19/08

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/14

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 41/00

A 6 1 K 48/00

C 0 7 K 14/56 Z N A

C 1 2 N 15/21

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月14日(2020.8.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験者の原発性腫瘍及び原発性腫瘍から転移してきた二次骨癌の両方を治療するための、抗癌活性を有し、SEQ ID NO:1のアミノ酸配列を含む有効量のインターフェロンを含む組成物。

【請求項2】

前記被験者へのインターフェロンの投与は、局所投与による前記インターフェロンの投与を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 3】

インターフェロンが、癌病巣又は癌に浸潤されたもしくは癌細胞を含む区域に投与される、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項 4】

前記インターフェロンの局所投与は、浸潤投与、経皮投与、透皮投与、表皮投与及び経粘膜投与の少なくとも一種を含む、請求項2に記載の組成物。

【請求項 5】

前記被験者へのインターフェロンの投与は、前記インターフェロンを、被験者の骨、皮膚、粘膜、及び/又は粘膜下層に投与する、又は被験者の骨、皮膚、粘膜、及び/又は粘膜下層の上に投与することを含み、前記インターフェロンの濃度が0.01 mg/mlから5 mg/mlである、請求項1～4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記インターフェロンの局所投与は、噴霧による投与を含む、請求項2～5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記インターフェロンの局所投与は、2 µgから2100 µgのインターフェロンの投与を含む、請求項2～6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

噴霧による前記インターフェロンの投与は、1回あたり6 µgから100 µgの量で前記インターフェロンを噴霧投与することを含む、請求項6に記載の組成物。

【請求項 9】

局所投与のための前記インターフェロンが、乾粉、水溶液、クリーム剤、膜浸透又は拡散薬物デリバリー系統、制御放出薬物デリバリー系統、密封薬物デリバリー系統、透皮貼付剤、又は皮膚下に注射されるインターフェロンを含んで徐放効果を奏するリザーバー型製剤の少なくとも一種に調製されている、請求項2～8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

前記インターフェロンは、ナノ粒子、ミクロン粒子、微小球、リボソーム又は制御放出される単一又は複合材料に調製されたものを含む、請求項2～8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

前記被験者へのインターフェロンの投与は、さらに全身投与及び/又は吸入投与による前記インターフェロンの投与を含む、請求項1～10のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

さらに、前記被験者に少なくとも一種の他の抗癌療法を施すことを含む、請求項1～11のいずれか一項に記載の組成物であって、前記インターフェロンを投与する前、おおよそ同時及び/又はその後に、前記被験者に少なくとも一種の他の抗癌療法を施す、組成物。

【請求項 13】

少なくとも一種の他の抗癌療法は、化学療法、放射線療法、手術療法、介入療法、生物学的療法、標的療法と漢方薬療法の少なくとも一種を含む、請求項12に記載の組成物。

【請求項 14】

前記生物学的療法は、遺伝子治療と免疫治療の少なくとも一種を含み、前記手術療法はアブレーション療法を含む、請求項13に記載の組成物。

【請求項 15】

原発性腫瘍が、肺癌、皮膚癌、皮下腫瘍、粘膜癌及び粘膜下腫瘍からなる群から選択される、請求項1～14のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 16】

原発性腫瘍が、非小細胞肺癌(NSCLC)、小細胞肺癌(SCLC)、メラノーマ、腺癌及び鼻咽頭癌からなる群から選択される、請求項1～15のいずれか一項に記載の組成物。